

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2024/07/22号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

中国経済の減速懸念、80ドル台を割り込む

NY原油先物相場は、1バレル=78ドル台中盤まで下落する展開になった。80~83ドル水準で売買が交錯していたが、週末を前に80ドルの節目を割り込み、6月17日以来の安値を更新した。7月15日に発表された中国4~6月期国内総生産（GDP）が前期比年率4.7%増と前期の5.3%増を大きく下回ると、中国経済の減速懸念が上値を圧迫した。一方で、7~9月期の国際原油需給のひっ迫見通しも強く、米原油在庫の取り崩しも続いている。このため、18日までは方向性に乏しい展開になった。しかし、19日はイスラエルとハマスの停戦合意期待を手掛りに買い玉整理の動きが加速し、80ドル台を割り込んだ。

中国経済の減速懸念が、素材市況全体の上値を圧迫している。非鉄金属や鉄鉱石相場等も上値の重い展開になっている。4~6月期に中国経済の減速が加速したことで、石油需要への影響も避けられないとの警戒感が広がった。7月15~18日には中国共産党の三中全会が開催されたが、中国経済に対する信頼感を高めるような動きは乏しく、逆に失望売りが優勢になった。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（7月12日時点）は、原油が前週487万バレル減、ガソリンが333万バレル増、石油精製品が345万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

中国経済リスク、中東リスク軽減期待が上値を圧迫

中国経済の減速懸念がクローズアップされる中、上値の重い展開になる見通し。産業用素材市況全体が値を崩しており、原油相場のみが大きく上昇することは難しくなっている。非鉄金属や鉄鉱石相場などの値崩れが続くと、原油相場も上値の重い展開が続きやすい。ただし、7～9月期の国際原油需給がタイト化する見通しには変化が生じていない。特に米原油在庫が4週連続の減少となれば押し目買いも誘われやすく、横ばいから小幅安に留まる見通し。

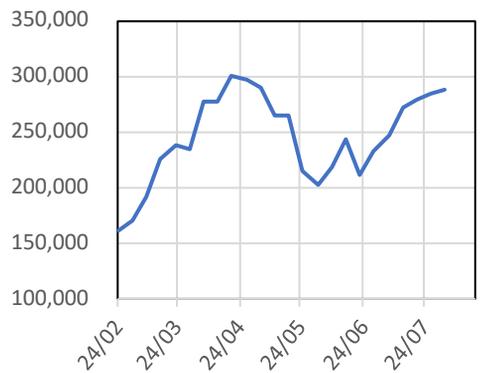
急落リスクとしては、中国経済動向に加えて、中東情勢にも注意が求められる。イスラエルとハマスの停戦協議が続いているが、ブリンケン米国務長官は7月19日に停戦合意が近いとの認識を示している。このことが同日の原油相場の急落を促したが、実際に停戦合意に向けて前進がみられると、ファンドの買い玉整理が加速することで、70ドル台中盤まで更に大きく値を崩す可能性がある。

一方、中国経済の減速懸念が強くなっているものの、7～9月期の国際原油需給のひっ迫見通しには大きな変化が生じていない。季節的な需要拡大の一方で、石油輸出国機構

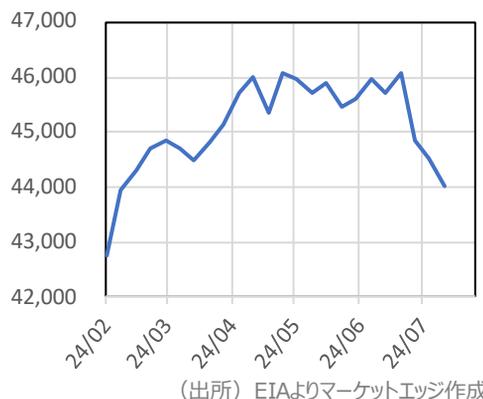
(OPEC) プラスの減産対応は維持される。世界的な在庫減少圧力が強く、米原油・ガソリン在庫減少傾向が続くと、押し目買いが誘われやすくなる。

「中国経済の減速」と「7～9月期の需給ひっ迫見通し」のどちらに売買テーマを設定するのかが問われるが、急ピッチな値上がりが一服した反動から、ファンドの買い玉整理の動きが広がりやすい環境になっている。

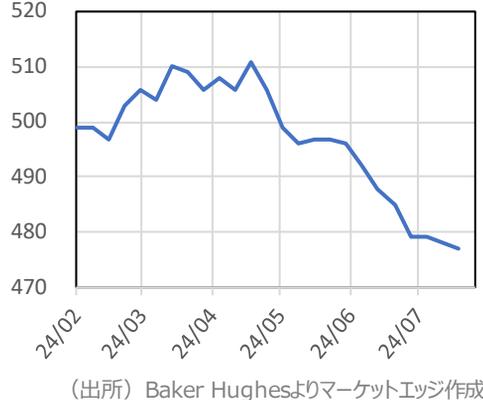
(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



(万バレル) 米原油在庫



(基) 米石油リグ稼働数



本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

